

# 「第18回RKK旗選抜少年軟式野球大会」ご案内

令和5年4月吉日

## チーム代表者様

皆様方におかれましては日々に練習に励まれていることと拝察申し上げます。

本大会「RKK旗選抜少年軟式野球大会」も今年で18回目となりました。

例年決勝戦の様相をRKKテレビで放送しており、少年野球の普及の一助につながっているものと考えています。少年野球の魅力を伝えるとともに、野球に一途に取り組む少年たちの姿を伝えることで、次の時代を担うたくましい力を感じていただけると幸いです。

**さて、貴チームにおかれましては、本大会へのご出場が確定いたしました。**

**大会出場おめでとうございます。**

### ◆内容物 ご確認下さい。

- ① ご案内（本紙 2 ページ）
- ② 大会要項（4 ページ）
- ③ トーナメント表
- ④ 申込用紙（控え）
- ⑤ 大会パンフ見本ページ

### ◆申し込み方法

全てご記入した④の申込用紙 + **パンフレット用チーム写真1枚** を  
メール：rkkki@rkk.jp に添付して送信

もしくは

アンケートフォームに記入（下記 URL。スマホ対応 QR からどうぞ）

<https://survey.rkk.jp/zs/y4CznV>

※エクセルの添付送信かアンケートフォームどちらかをお選びください



◆申込期限

5月5日（金）20:00まで

（申し込みまでの期間に間に合わない場合には、担当：トモズミまでご連絡ください）

◆参加費

1チーム 15,000円（大会1回戦 当日の受付時にご持参ください。）

◆開会式・組み合わせ抽選会・監督主将会議

令和5年5月5日（金・祝） 15:00～

RKK熊本放送 RKK本社6F第3会議室（熊本市中央区山崎町30）

各チーム 監督・主将 お二人ユニフォーム姿での出席をお願いします。

追記

■RKKテレビで決勝戦の様態を中継録画番組として放送いたします。ご期待ください。

放送が、野球をする少年たちのひとつの目標になればと願っております。

（放送日7月17日（月・祝）を予定しています）

不明な点、お問合せは担当者にご遠慮なくお申し付けください。

どうぞよろしくお願いいたします。

RKK熊本放送 テレビ営業局販促事業部

担当：友住 修武（トモズミ オサム）

TEL：096-328-5631

携帯：080-8372-5440

# 第 18 回 RKK旗選抜少年軟式野球大会

## ドラフト トーナメント

主 催 株式会社熊本放送

主 管 熊本県軟式野球連盟・熊本市軟式野球連盟

後 援 熊本県、熊本市、熊本教育委員会、熊本市教育委員会、熊本日日新聞社

協 賛 (有)ベースボールショップ ドラフト

## 第18回RKK旗選抜少年軟式野球大会

- 目 的 健全なる少年達の育成と技術の錬磨並びに親睦を図ることを目的とする。
- 主 催 株式会社熊本放送
- 主 管 熊本県軟式野球連盟・熊本市軟式野球連盟
- 後 援 熊本県、熊本市、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本日日新聞社(各申請中)
- 協 賛 (有)ベースボールショップ ドラフト
- 協 力 ナガセケンコー(株)
- 試合方法 参加16チームによるトーナメント方式
- チーム編成 監督1名、コーチ2名以内、選手25名以内
- 期 日 <開会式・抽選会・監督会議>  
2023年5月5日(金・祝) 午後3時～ 場所:RKK本社 第3会議室  
<試合日>  
2023年5月27日(土) 28日(日)、決勝戦=6月3日(土)  
※予備日/6月4日(日)、10日(土)
- 会 場 予選:熊本県民総合運動公園野球場 A・B 城山グラウンド 天明グラウンド  
決勝:熊本市水前寺野球場
- 参加資格 熊本県内中学校に在籍する少年で編成され、熊本県軟式野球連盟に登録しているチームで  
熊本市軟式野球連盟の推薦を受けた11チーム、熊本市以外より熊本県軟式野球連盟選抜によ  
る4チーム及び前年度優勝チームの16チームとする。  
当大会の試合日程に参加できること。途中辞退・棄権は認めない。  
参加申込書1通(保護者承諾内容)を提出しなければならない。  
スポーツ安全傷害保険に加入済みのチームに限る。
- 参加料 ¥15,000- (大会初日に持参のこと。)
- 申込方法 熊本市軟式野球連盟及び熊本県軟式野球連盟より選抜されたチームには、  
各連盟支部からRKK旗選抜少年軟式野球大会事務局が連絡を受け、個別連絡いたします。  
その後大会事務局にメールで大会参加申込書等を提出してください。
- 申込期日 2023年5月4日(木) ※参加料は1回戦当日の受付時に納めてください。
- 申込先 〒860-8611 熊本市中央区山崎町30 RKK熊本放送 販促事業部内  
RKK旗選抜少年軟式野球大会事務局 メールアドレス:rkki@rkk.jp

使用球 公認 ケンコーのM号ボール

試合方法 (1)トーナメント法による。

(2)試合は7回戦とする。

7回が終了して同点の場合は、引き続きタイブレーク戦を最大2回まで行い、その得点で勝敗を決定する。それでも決着がつかないときは、出場選手9名の抽選で勝敗を決定する。

ただし決勝戦は勝敗が決定するまでタイブレーク戦を繰り返す。

(3)5回以降7点差の場合はコールドゲームとする。決勝戦は、5回以降10点差とする。

(4)試合時間は、1時間30分より新しいイニングには入らない。

制限時間が来ても同点の場合は、引き続きタイブレーク戦を最大2回まで行い、その得点で勝敗を決定する。それでも決着がつかないときは、出場選手9名の抽選とする。ただし決勝戦は、2時間を経過した場合は新しいイニングには入らないが、勝敗が決定するまでタイブレーク戦の方法を繰り返す。

(5)タイブレーク戦は無死一、二塁の状態から継続打順で、投手の投球制限を遵守のうえ行う。走者はその打者の前位の打者とする。

(6)投手の投球制限については、健康維持を考慮し、1日 100 球までとする。

(7)守備側のタイムは1試合に3回以内とする。

なおタイブレーク戦は1イニングに1回行くことができる。

守備側のタイム中に攻撃側は指示を与えることができるが、守備側のタイムより長引けば、攻撃側の1回とカウントする。

(8)攻撃側のタイムは1試合に3回以内とする。

なおタイブレーク戦は1イニングに1回行くことができる。

攻撃側のタイム中に守備側は指示を与えることができるが、攻撃側のタイムより長引けば、守備側の1回とカウントする。

(9)代打の通告や投手交代の場合は、タイムの回数にはカウントしない。

(10)守備の時間が長い場合(概ね20分)には健康維持を考慮し、

審判員の判断で給水タイムを設けることとする。(試合時間には入れない)

(11)降雨のため、試合不能のときは日程を変更することがある。

(12)試合開始予定時刻前でも、前の試合終了の30分後に次の試合を開始する。

試合開始予定時間になっても会場に来ないチームは原則として棄権と見なす。

(13)監督は20歳以上の成人に限る。

(14)ヘルメットは危険防止のため着用すること。

捕手は捕手用のヘルメット、レガース、プロテクター、ファウルカップを必ず着用すること

(15)捕手用マスク(SGマーク入り)には、必ずスロートガードをつけること。

(16)ダブルヘッダーの場合、前の試合に登板した投手の投球数はオーダー表で確認する。

(17)熊本県軟式野球連盟の取り決め事項に準じて試合を行う。

監督・主将会議 2022年5月5日(金・祝)開催の抽選会後に開催

表彰 優勝＝優勝旗・賞状・優勝カップ・メダル 準優勝＝楯・賞状・メダル 3位＝賞状  
審判 熊本市軟式野球連盟 公認審判員  
規則 2023 年度公認野球規則及び2023 年度全日本軟式野球連盟競技者必携事項を適用する。

- 注意事項 (1)開会式は 5/5 抽選会時に行う。  
(2)小雨決行(雨の場合は必ず両チーム会場に集合すること)。  
(3)降雨により中止する場合は主催者及び審判員の判定により決定する。  
(4)日程の都合上、日没まで短時間しかない場合でも試合を開始することがある。  
ただし、審判員は予め均等回終了時点で「日没終了ゲーム」が成立することを両軍に申し渡すこととする。  
(5)応援団は選手の激励を旨とし、野卑な応援をしないように努める。  
例えば、相手選手の個人攻撃やバケツなどは使用しない。※声援は禁止する。  
(6)練習のとき、会場の施設を破損した場合はそのチームで弁償する。  
責任をとらないチームは大会出場を禁止する。  
(7)球場内でのフリーバッティングは事故防止のため厳禁とする。  
(8)不正行為の場合はすべてチーム失格とする。  
(9)試合中の抗議は監督に限る。(審判員の裁定が規則の適用を誤って下されたとき)。  
打球がフェアかファールか、投球がストライクかボールか、走者がアウトかセーフかという裁定に限らず、審判員の判断に基づく裁定は最終のものであるから、プレーヤー、監督、コーチ、控えのプレーヤーがその裁定に対して異議を唱えることは許されない。  
(10)試合中、場外に出たボールは1塁側、3塁側ベンチの近いチームで処理すること。  
(11)ベースコーチはユニフォーム着用 of 選手に限る。  
※監督・コーチ・選手のユニフォームのズボンに“ふくらはぎ”が見えるようにあげること。  
※イニングの合間(攻守交替のとき)の10人目の選手によるキャッチボールは可とする。  
(12)ベンチは若番を1塁側とする。  
(13)監督は、みだりにベンチを離れてはならない。  
※監督(監督が不在の場合は、その代行者)のみがグラウンドに出て指示を与えることができる。  
※コーチがグラウンド内に出て指示を与えることは許されない。  
※マナーアップとフェアプレイの両面から、次のように行為を禁止する。  
①走者がタッチアップ体勢をとっているとき、野手が選手の前に立ち視野を遮る行為。  
②野手が走者の前に立ち、ボールを保持している投手板上の投手への視野を遮る行為。  
(14)試合中紛争等の際に激昂のあまり審判員及び役員または相手チームに手をかけたら、直ちにその選手及び監督の属するチームは失格とする。(応援団も含む)  
尚、そのチーム及び選手は、今後大会への出場を一切認めない。  
(15)次の試合を行うチームは、前の試合 4 回終了時に本部へメンバー表を4部提出すること。  
その際攻守決定を行う。  
(16)ベンチに入られる人員は、登録された監督、コーチ、選手25名以内、チーム責任者、マネージャー、スコアラー、トレーナー(有資格者)とする。

- (17)シートノックの時には必ずヘルメット・マスク・プロテクター・レガース・ファウルカップを着用すること。（攻守交代時の投球練習などにも着用すること。）
- (18)用具(レガース、金属バット、ヘルメット、マスク、プロテクターなど)は、すべて全日本軟式野球連盟(全軟JSBB)公認のものを使用すること。  
グラブ、ミットの締め紐の余裕部分の長さは、親指の長さ以内とする。  
捕手用マスクのSGマークについては、2023(令和5)年シーズンは義務化を行わない。
- (19)SGマークの付いていないヘルメット(SGマークの剥げたヘルメット)は、使用できない。
- (20)2回以降の内野の転送球は、投手の投球練習の直後のみ認める。
- (21)試合中、攻守交代の時3死の最後のボールは、  
守備側選手が必ず投手板上に置いて行くこと。
- (22)監督、コーチは選手と同一のユニフォームを着用すること。
- (23)打順表には試合に来ている者全員を必ず記載すること。  
記載されていない者はその試合には出場できない。
- (24)控え選手がベンチを出て守備練習を見守ること、および投手の準備投球にあわせて素振りをするを禁止する。
- (25)ベンチ内の大人がいかなる状況であっても、選手を萎縮させるような言動を禁止する。
- (26)試合終了後直ちに両チームは全員で内野グラウンドを整備すること。

その他 ・会場は、駐車場が不足しますので、乗り合わせて来られるようにご協力下さい。  
・各チームから投球数確認者を1人ずつ出してください。

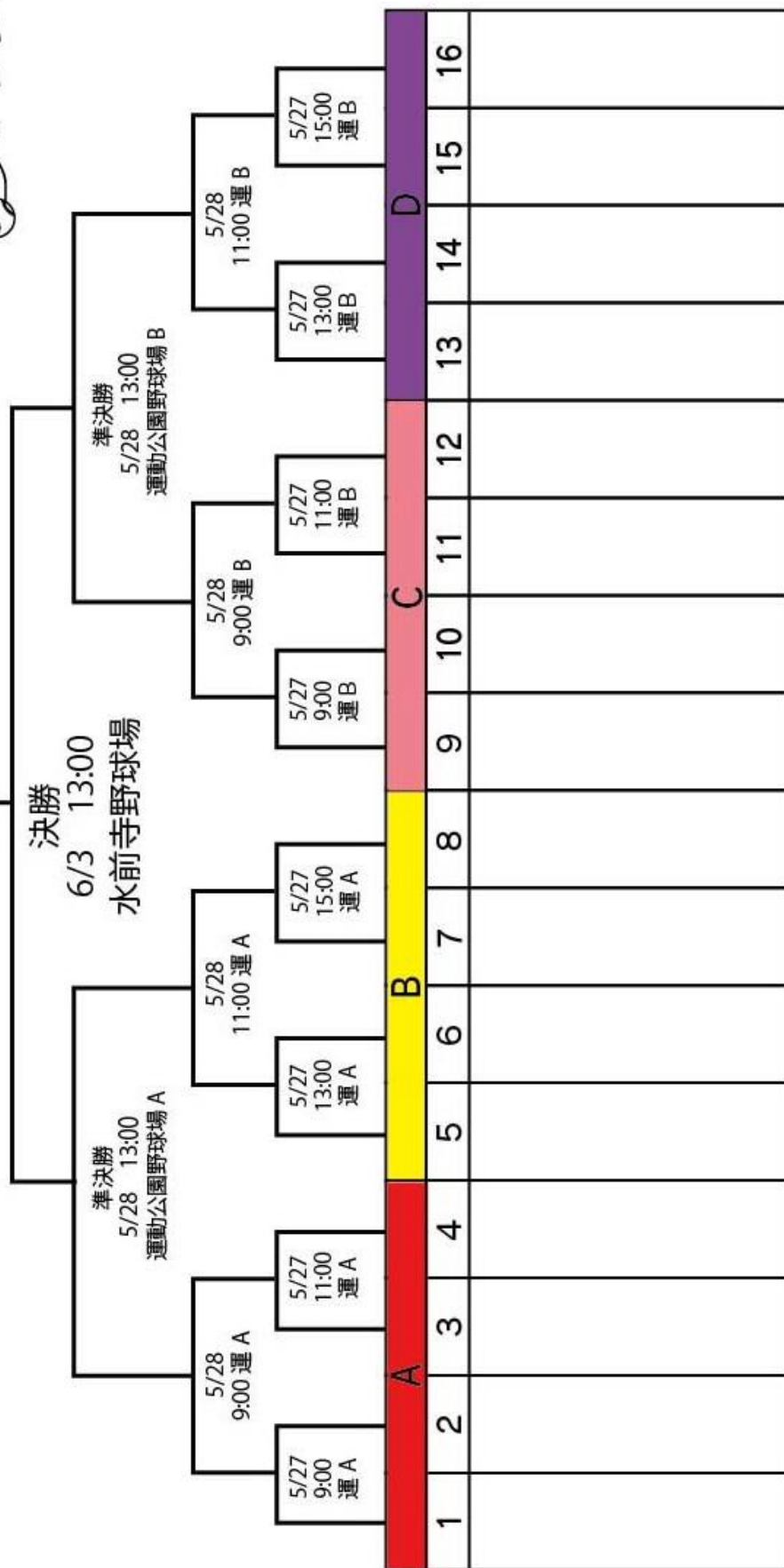
# 第18回 RKK 旗選抜少年軟式野球大会

## ～ドラフトトーナメント～

協賛



優勝





トーナメント  
ナンバー

1

# 合志中学校（合志市）

前大会優勝

城北地区も優勝校として、本大会も連覇できるように、  
部員 38 名一丸となって全力で頑張ります。



監督 / 背番号 30・澤田 和宏 コーチ / 背番号 29・上嶋 栄資 コーチ / 背番号 28・津留 慶次

## 選手紹介

背番号	氏名	投	打	性別	学年	コメント
10	大坪 拓真	左	左	男	3	今までやってきた全員野球と粘り強さで優勝を目指します。
1	佐藤 貴弥	左	左	男	3	チームの大黒柱として勝てる投手になります。
2	山内 宥平	右	右	男	3	投手の良さを引き出し、チャンスに強い打者になります。
3	深水 勇翔	右	右	男	3	投手と野手のどちらでも活躍します。
4	藤川 蓮芯	右	左	男	3	堅い守りとスピードのある攻撃で勝利を目指します。
5	渡辺 直喜	右	右	男	3	堅実な守備と思切りのいいバッティングで勝利に貢献します。
6	田中 舜	右	右	男	3	攻守でチームの中心として勝利に貢献します。
7	山隈 蓮	右	左	男	3	チームが一本ほしいときに打てる勝負強い打者になります。
8	隅川 心翔	右	左	男	3	スピードのある攻撃と広い守備範囲で勝利に貢献します。
9	黒塚 大輝	右	右	男	3	チームが一本ほしいときに打てる勝負強い打者になります。
11	前田羽琉緋	右	右	男	3	投手と野手の二刀流で活躍します。
12	中嶋 祥吾	右	右	男	3	角度のあるボールで打者を翻弄します。
13	合志 惇平	右	右	男	3	堅い守りと大きな声でチームの勝利に貢献します。
14	山田 花暖	右	左	女	3	持ち味の長打力を生かしチームの勝利に貢献します。
15	江藤 圭吾	右	右	男	3	自分の持ち味である長打力を発揮したいです。
16	荒木 海斗	右	右	男	3	今までやってきた2年半を信じ、集中して頑張ります。
17	山田 琉生	右	右	男	3	自分のできることを全力で行い、チームの勝利に貢献したいです。
18	新納 大河	右	右	男	3	常につなぎの意識で一点をもぎとります。
19	上嶋 喜一	右	右	男	3	チームが一つになって一人ひとりができることをしたいです。
20	緒方 大和	右	右	男	3	がむしゃらプレーで勝ちにいきます。